

肉用牛肥育経営安定特別対策事業(新マルキン事業)の補填金
単価について

【平成29年7・8・9月分】

平成29年7・8・9月に県内の契約生産者が販売した交付対象牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱(平成28年3月25日付け27農畜機第5583号)第6の9の補填金単価(確定値)については、下記のとおりです。

なお、平成29年7・8月に販売された交付対象牛に適用する同要綱附則9の精算払の額については、下記の確定値と概算払の補填金単価の差額となります。

記

販売月	肉専用種
平成29年7月確定値 (概算払)	- -
8月確定値 (概算払)	8,600 円 (4,800 円)
9月確定値	47,000 円

- 注1: 平成23年度第2四半期以降の補填金について、月毎に支払う方式としています。
- 注2: 平成26年度より、四半期の最終月以外に販売された交付対象牛について、肥育牛補填金の概算払を行うこととしています。
精算払については、四半期の最終月の補填金交付とあわせて行います。
- 注3: 概算払は、配合飼料価格安定制度の当該四半期の補填金がないと仮定して計算した額より4,000円を控除した額としています。ただし、控除した額が1,000円未満の場合は概算払を行いません。
なお、配合飼料価格安定制度の平成29年度第2四半期の補填状況については、下記のホームページをご参照ください。
一般社団法人全国配合飼料供給安定基金
<http://www.esakikin.or.jp/oshirase20140710.pdf>
一般社団法人全国畜産配合飼料価格安定基金
<http://www.tikusankikin.com/kouhujoukyou26.html>
一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金
http://www.zennikki.or.jp/buz/buz01_01.html
- 注4: 補填金交付額に見合う財源が不足する場合等、上記補填金単価を減額することがあります。
- 注5: 平成26年度より、消費税抜きで算定しています。
- 注6: 交雑種及び乳用種の補填金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記のホームページで公表します。
<http://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin.html>

連絡先

公益社団法人 福岡県畜産協会
経営指導部基金事業課(担当:杉本)
TEL 092-641-8723 FAX 092-642-1276

(参考1)

平成29年9月における補填金算定基礎(肉専用種)

【平成29年9月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,087,368
生産コスト (B)	1,146,194
差額 (C) = (A) - (B)	△ 58,826
補填金単価 (D) = (C) × 0.8	47,000

粗収益 (A) = ① + ②	1,087,368
主産物価格 ① = a × b	1,077,312
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,172
枝肉重量 (kg) b	496
副産物価格 ②	10,056
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,146,194
物財費 ③	1,050,266
もと畜費	702,096
飼料費	281,325
流通飼料費	279,861
麦類	10,504
とうもろこし	9,456
ふすま	8,604
かす類	7,455
配合飼料	200,412
稲わら	24,124
その他	19,306
牧草・放牧・採草費	1,464
敷料費	11,539
光熱水料及び動力費	10,373
その他の諸材料費	182
獣医師料及び医薬品費	8,160
賃借料及び料金	4,287
物件税及び公課諸負担	4,760
建物費	11,952
自動車費	5,510
農機具費	8,463
生産管理費	1,619
労働費 ④	72,673
家族	65,916
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,122,939
支払利子 ⑥	12,266
支払地代 ⑦	413
と畜経費 ⑧	10,576

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

注2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考2)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成29年7月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,168,563
生産コスト (B)	1,147,843
差額 (C) = (A) - (B)	20,720
補填金単価 (確定値) (D) = (C) × 0.8	—

粗収益 (A) = ① + ②	1,168,563
主産物価格 ① = a × b	1,158,507
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,331
枝肉重量 (kg) b	497
副産物価格 ②	10,056
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,147,843
物財費 ③	1,052,091
もと畜費	702,096
飼料費	283,226
流通飼料費	281,762
麦類	10,651
とうもろこし	9,518
ふすま	8,708
かす類	7,479
配合飼料	201,940
稲わら	24,055
その他	19,411
牧草・放牧・採草費	1,464
敷料費	11,539
光熱水料及び動力費	10,315
その他の諸材料費	182
獣医師料及び医薬品費	8,160
賃借料及び料金	4,287
物件税及び公課諸負担	4,760
建物費	11,940
自動車費	5,504
農機具費	8,463
生産管理費	1,619
労働費 ④	72,673
家族	65,916
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,124,764
支払利子 ⑥	12,266
支払地代 ⑦	413
と畜経費 ⑧	10,400

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

注2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考3)

牛マルキンにおける平均推定所得算定基礎(肉専用種)
【平成29年8月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	1,136,181
生産コスト (B)	1,146,976
差額 (C) = (A) - (B)	△ 10,795
補填金単価 (確定値) (D) = (C) × 0.8	8,600

粗収益 (A) = ① + ②	1,136,181
主産物価格 ① = a × b	1,126,125
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,275
枝肉重量 (kg) b	495
副産物価格 ②	10,056
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	1,146,976
物財費 ③	1,051,065
もと畜費	702,096
飼料費	282,182
流通飼料費	280,718
麦類	10,577
とうもろこし	9,487
ふすま	8,652
かす類	7,463
配合飼料	201,067
稲わら	24,124
その他	19,348
牧草・放牧・採草費	1,464
敷料費	11,539
光熱水料及び動力費	10,327
その他の諸材料費	182
獣医師料及び医薬品費	8,160
賃借料及び料金	4,287
物件税及び公課諸負担	4,760
建物費	11,940
自動車費	5,510
農機具費	8,463
生産管理費	1,619
労働費 ④	72,673
家族	65,916
費用合計 ⑤ = ③ + ④	1,123,738
支払利子 ⑥	12,266
支払地代 ⑦	413
と畜経費 ⑧	10,559

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

注2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考4)

主産物価格及びもと畜費の算定

1 主産物価格の算定

主産物価格は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県からの出荷状況を考慮し、選定した以下の卸売市場における食肉流通統計（農林水産省公表）の取引データと本県における相対取引のデータをもとに算定しています。

【算定に用いる卸売市場】

東京都中央卸売市場、神戸市中央卸売市場、福岡市中央卸売市場、
姫路市食肉センター

2 もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（（独）農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

【算定に用いる家畜市場】

ホクレン南北海道家畜市場、鳥取県中央家畜市場、島根中央家畜市場、
三次地域家畜市場、山口中央家畜市場、中央家畜市場（佐賀県）、
宇久小値賀家畜市場、壱岐家畜市場、平戸口中央家畜市場、五島家畜市場、
熊本県家畜市場、豊後豊肥家畜市場、豊後玖珠家畜市場、都城地域家畜市場、
小林地域家畜市場、高千穂家畜市場、宮崎中央農業協同組合家畜市場、
薩摩中央家畜市場、曾於中央家畜市場、肝属中央家畜市場、
種子島中央家畜市場、徳之島中央家畜市場、沖永良部家畜市場、与論家畜市場、
南部家畜市場、伊江村家畜市場、宮古家畜市場、久米島家畜市場